

#####

Mageia の公式ドキュメント



本マニュアル内の文章とスクリーンショットは クリエイティブ・コモンズ 表示-継承 3.0 ライセンス <https://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/> [http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/] のもとで利用可能です。

This manual was produced with the help of the [Calenco CCMS](https://www.calenco.com) [https://www.calenco.com].

これはボランティアによってその自由な時間の中で書かれたものです。
もし本マニュアルの改善を手助けしたいのであれば [Documentation チーム](https://wiki.mageia.org/en/Documentation_team) [https://wiki.mageia.org/en/Documentation_team]までご連絡をお願いします。

ライブメディアからのインストール

目次

ライブ メディアからのインストール	1
1. ISO の選択と使用	1
1.1. はじめに	1
1.2. メディア	1
1.3. メディアのダウンロードとチェック	3
1.4. ISO を焼くか書き込む	5
2. Mageia をライブ システムとしてブートする	7
2.1. メディアをブートする	7
2.2. BIOS/CSM/Legacy モード	8
2.3. UEFI モード	9
3. 使用する言語を選択する	10
4. 使用許諾契約とリリース ノート	11
4.1. 使用許諾契約の同意	11
4.2. リリース ノート	11
5. タイムゾーンを設定する	12
6. 時計の設定	13
7. キーボードを選択する	14
8. Mageia をライブ システムとしてテストする	14
8.1. ライブ モード	14
9. パーティションの設定	16
9.1. 自動パーティション設定	16
9.2. マウント ポイントを選択する	21
9.3. ハード ディスクをフォーマットするか確認する	22
9.4. DiskDrake によるパーティションのカスタム設定	23
9.5. フォーマット	26
10. 使用されていないものを残すか削除する	27
11. ブートローダ	28
11.1. 利用可能なブートローダ	28
11.2. ブートローダの設定	29
11.3. その他の項目	33
12. 再起動	33
13. ユーザの管理	35
13.1. 管理者 (root) のパスワードを設定する:	35
13.2. ユーザを入力する	35
14. ログイン画面	36
15. Mageia をアンインストールする	37

目次

1. EFI システム パーティション	24
2. BIOS ブート パーティション	25



あなたが本マニュアル内で目にしたすべてのインストーラの画面を目にする人はいないでしょう。どの画面を見ることになるのかは、あなたのハードウェアとインストール時の選択内容によって変わります。

1. ISO の選択と使用

1.1. はじめに

Mageia は ISO イメージで配布されています。このページはあなたに合っているイメージの選択を手助けします。

メディアには三つの種類があります：

- **クラシック インストーラ**：このメディアで起動すると何をインストールするかやシステムの設定に対して最大限柔軟に進めることができます。特に、どのデスクトップ環境をインストールするかの選択が行えます。
- **ライブ メディア**：この選択では実際にインストールしたりお使いのコンピュータに変更を加えたりせずに Mageia を試すことが可能です。一方、ライブ メディアはインストーラも含んでおり、メディアのブート時またはライブ オペレーティング システム自体をブートした後に開始できます。



ライブ インストーラはクラシック インストーラと比べてシンプルですが、それよりも選択できることは少ないです。



ライブ ISO は「クリーン」インストールの際にのみ使用でき、以前インストールした Mageia のリリースをアップグレードするのに用いることはできません。

- **ネット インストール**：DrakX インストーラを開始したり、DrakX-installer-stage2 とインストールの続行および完了に必要な他のパッケージを見つけたりするのに必要なもの以外を含まない最小限の ISO があります。これらのパッケージは PC のハードディスク、ローカルドライブ、ローカル ネットワーク、インターネットにあってもかまいません。

これらのメディアは非常に軽量 (100 MB 未満) で、DVD 全体をダウンロードするのに帯域幅が狭すぎる場合、DVD ドライブのない PC をお持ちの場合、USB スティックからブートできない場合に便利です。

より詳しくは続くセクションで説明します。

1.2. メディア

1.2.1. 定義

ここで、メディアとは Mageia のインストールや更新を行えるようにする ISO イメージ ファイルのことで、延長線上で考えると ISO ファイルの内容を書き込んだ物理的な媒体 (DVD、USB スティックなど) です。

Mageia の ISO は [こちら](http://www.mageia.org/ja/downloads/) [http://www.mageia.org/ja/downloads/]で見つかります。

1.2.2. クラシック インストール メディア

1.2.2.1. 共通の機能

- これらの ISO は DrakX と呼ばれるクラシック インストーラを使用します。
- これらはクリーン インストールもしくは以前インストールしたバージョンの Mageia をアップグレードするために用いられます。
- 32 ビットと 64 ビットのアーキテクチャでメディアは異なります。
- 「ようこそ」画面で幾つかのツールが利用できます: Ρεσχυε Συστημ, Μεμορη Τεστ, Ηαρδωαρε Δετεχτιον Tool
- 各 DVD はたくさんの利用可能なデスクトップ環境や言語を含んでいます。
- インストール時に非フリーのソフトウェアを追加するか選択することになります。

1.2.3. ライブ メディア

1.2.3.1. 共通の機能

- インストールをせずに Mageia オペレーティング システムを下調べするために使用できます。
- ライブ メディアはインストーラも含んでいます。
- 各 ISO は一つのデスクトップ環境 (Plasma, GNOME, Xfce) しか含んでいません。
- 32 ビットと 64 ビットのアーキテクチャでメディアは異なります。
- これらは非フリーのソフトウェアを含んでいます。

1.2.3.2. ライブ DVD Plasma

- Plasma デスクトップ環境のみとなります。
- 利用可能な全言語が収録されています。
- 64 ビットアーキテクチャ専用です。

1.2.3.3. ライブ DVD GNOME

- GNOME デスクトップ環境のみとなります。
- 利用可能な全言語が収録されています。
- 64 ビットアーキテクチャ専用です。

1.2.3.4. ライブ DVD Xfce

- Xfce デスクトップ環境のみとなります。
- 利用可能な全言語が収録されています。
- 32 ビットと 64 ビットのアーキテクチャに対応しています。

1.2.4. ネット インストール メディア

1.2.4.1. 共通の機能

- 32 ビットと 64 ビットのアーキテクチャでメディアは異なります。

- 最初の幾つかのステップは英語のみとなります。

1.2.4.2. netinstall.iso

- フリーソフトウェアのみを含んでおり、非フリーのソフトウェアを使用しないことを好む方々に向けたものとなります。

1.2.4.3. netinstall-nonfree.iso

- 非フリーのソフトウェア (大部分はドライバやコーデックなど) を含んでおり、これを必要とする方々に向けたものです。

1.3. メディアのダウンロードとチェック

1.3.1. ダウンロード

ISO ファイルを選択したら、いつでも http もしくは BitTorrent でダウンロードすることができます。いずれの場合においても、使用されるミラーや帯域幅が狭すぎる場合の代替のような幾つかの情報が提供されます。

http が選択された場合、チェックサムについての情報も表示されます。

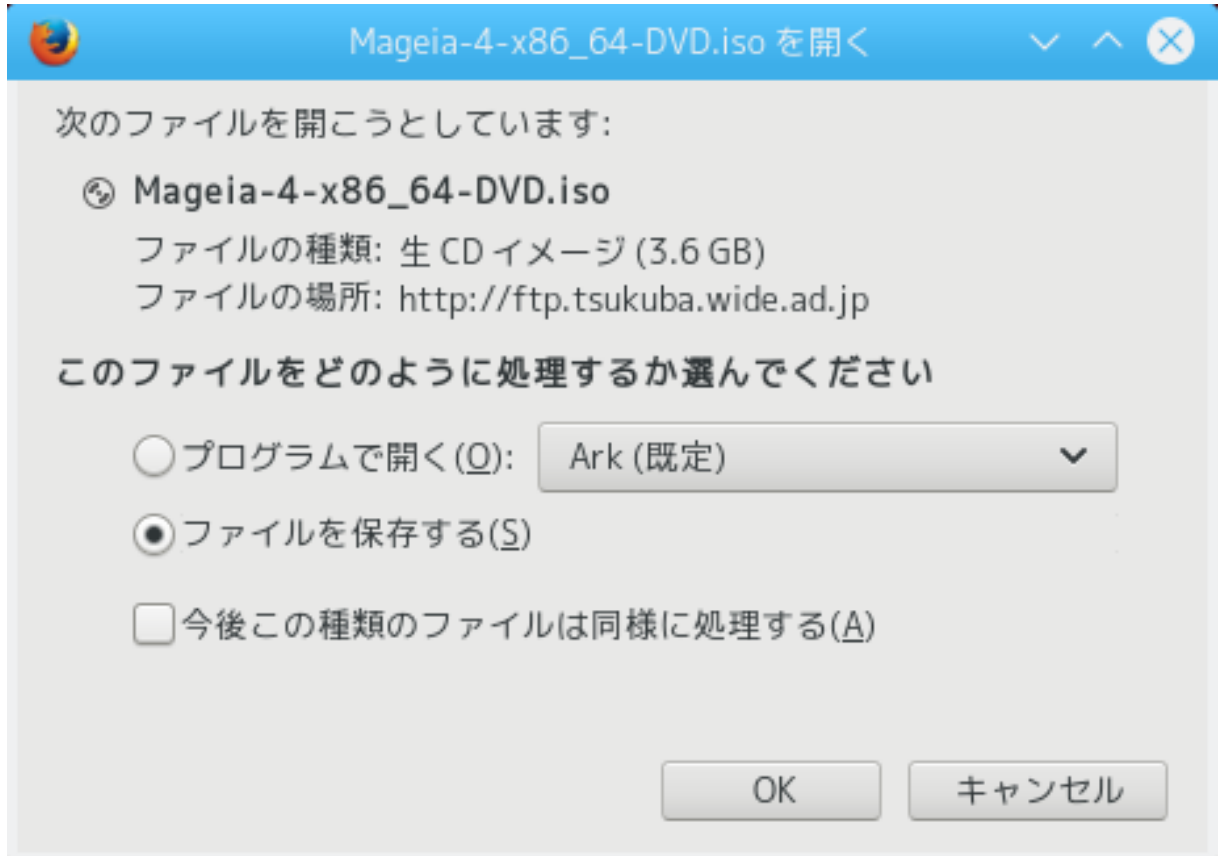
md5sum, sha512sum, sha3-512sum (最も安全) は ISO の完全性をチェックするツールです。次のセクションで使用するためにチェックサム (英数の文字列) のいずれかをコピーしてください。

```
$ # iso とチェックサムの両方のファイルを同じフォルダに置く必要があります
$ md5sum -c Mageia-10-beta1-x86_64.iso.md5
Mageia-10-beta1-x86_64.iso: OK

$ sha512sum -c Mageia-10-beta1-x86_64.iso.sha512
Mageia-10-beta1-x86_64.iso: OK

$ sha3-512sum -c Mageia-10-beta1-x86_64.iso.sha3
Mageia-10-beta1-x86_64.iso: OK
```

そうしている内に、ISO をダウンロードするためのウィンドウが開きます:



#####をクリックし、OK をクリックします。

1.3.2. ダウンロードしたメディアの完全性をチェックする

先述したチェックサムは、ダウンロードするファイルからアルゴリズムにより生成された電子指紋です。ダウンロードした ISO のチェックサムをオリジナルのソース ISO に対して比較することができます。チェックサムが一致しない場合、ISO 上の実際のデータが一致しないことを意味し、そのときはダウンロードをやり直すか BitTorrent で修復を試みるべきです。

ダウンロードした ISO からチェックサムを生成するには、端末を開いて (root になる必要はありません)、以下を行います:

- md5sum を用いるには、以下を入力します: **md5sum path/to/the/image/file.iso**
- sha512sum を用いるには、以下を入力します: **sha512sum path/to/the/image/file.iso**
- sha3-512sum を用いるには、以下を入力します: **sha3-512sum path/to/the/image/file.iso**

例:

```
[sam5@localhost ~]$ md5sum /home/sam5/Downloads/Mageia-4-RC-x86_64-DVD.iso
ec1ce42c4b003b5e9bea6911968195c8 /home/sam5/Downloads/Mageia-4-RC-x86_64-DVD.iso
[sam5@localhost ~]$
```

その後、結果 (しばらく待つ必要があるかもしれません) を Mageia により提供される ISO チェックサムと比較します。

1.4. ISO を焼くか書き込む

確認済みの ISO は CD や DVD に焼くか、もしくは USB スティックに「書き込む」ことができます。これは普通のコピー操作ではなく、ブート可能なメディアを作成するものです。

1.4.1. ISO を CD/DVD に焼く

どのソフトウェアを用いる場合も、#####として焼くように設定されているかを確認し、###や### #を焼くのは正しくありません。詳しい情報は [Mageia wiki](https://wiki.mageia.org/en/Writing_CD_and_DVD_images) [https://wiki.mageia.org/en/Writing_CD_and_DVD_images] を参照してください。

1.4.2. ISO を USB スティックに書き込む

すべての Mageia の ISO はハイブリッドです。これはこれらを USB スティックに書き込むことができ、かつブートしてシステムをインストールするのに使用できることを意味します。



フラッシュ デバイスへのイメージの書き込みはデバイス上のすべての既存のファイル システムを破壊し、既存のすべてのデータは失われます。



また、フラッシュ デバイス上のパーティションは Mageia の ISO のパーティションのみとなります。

それから、8GB の USB スティックに約 4GB の ISO を書き込んだ場合、そのスティックは 4GB としか表示されません。これは残りの 4GB が未フォーマットなためです - 従って、今は使用することができません。元の容量に回復するには、再度 USB スティックのフォーマットとパーティションの作成を行わなければなりません。

1.4.2.1. Mageia 内でグラフィカル ツールを使用する

[IsoDumper](https://wiki.mageia.org/en/IsoDumper_Writing_ISO_images_on_USB_sticks) [https://wiki.mageia.org/en/IsoDumper_Writing_ISO_images_on_USB_sticks] のようなグラフィカル ツールを使用できます。

1.4.2.2. Windows 内でグラフィカル ツールを使用する

以下を試すことができます:

- [Rufus](http://rufus.akeo.ie/?locale=en_US) [http://rufus.akeo.ie/?locale=en_US] using the "ISO image" option
- [Win32 Disk Imager](http://sourceforge.net/projects/win32diskimager) [http://sourceforge.net/projects/win32diskimager]

1.4.2.3. GNU/Linux システム内でコマンド ラインを使用する



これを手動で行うことは潜在的に *危険* です。対象デバイスの指定を間違えると大事な既存のデータを上書きするおそれがあります。

1. 端末を開きます
2. `su -` コマンドで `root` (管理者) ユーザになります (- を忘れないでください)

```
[sam5@localhost ~]$ su -  
Password:  
[root@localhost ~]#  
[root@localhost ~]#  
[root@localhost ~]# █
```

3. USB スティックを挿入します - ただしマウントはしないでください (これにアクセスしたり読み込んだりする可能性のあるアプリケーションやファイル マネージャを開かないということも意味します)
4. コマンド **fdisk -l** を入力します

```
[root@localhost ~]# fdisk -l  
  
Disk /dev/sda: 298.1 GiB, 320072933376 bytes, 625142448 sectors  
Units: sectors of 1 * 512 = 512 bytes  
Sector size (logical/physical): 512 bytes / 4096 bytes  
I/O size (minimum/optimal): 4096 bytes / 4096 bytes  
Disklabel type: dos  
Disk identifier: 0x000db4bf  
Partition 3 does not start on physical sector boundary.  
  
Device      Boot      Start          End      Blocks      Id System  
/dev/sda1   *          2048      21256191    10627072    83 Linux  
/dev/sda2             21256192    63528959    21136384    83 Linux  
/dev/sda3             63530964    625137344    280803190+    5 Extended  
/dev/sda5             63531008    84873215    10671104    83 Linux  
/dev/sda6             84875264    127016959    21070848    83 Linux  
/dev/sda7            127019008    135985151     4483072    82 Linux swap / Solaris  
/dev/sda8            135987200    198598655    31305728    83 Linux  
/dev/sda9            198600704    471588863    136494080    83 Linux  
/dev/sda10           471590912    496777994    12593541+    83 Linux  
/dev/sda11           496781312    504955079     4086884    82 Linux swap / Solaris  
/dev/sda12           504958976    625137344    60089184+    83 Linux  
  
Disk /dev/sdb: 7.5 GiB, 8011087872 bytes, 15646656 sectors  
Units: sectors of 1 * 512 = 512 bytes  
Sector size (logical/physical): 512 bytes / 512 bytes  
I/O size (minimum/optimal): 512 bytes / 512 bytes  
Disklabel type: dos  
Disk identifier: 0x15005631  
  
Device      Boot Start          End      Blocks      Id System  
/dev/sdb1   *           1      7598079    3799039+    17 Hidden HPFS/NTFS  
  
[root@localhost ~]# █
```

5. お使いの USB スティックのデバイス名を探します (サイズを参考にします)。例えば上のスクリーンショットでは /dev/sdb で、8GB の USB スティックです。

代わりに、**dmesg** コマンドでデバイス名を探ることができます。下の例の終わり付近には **sd** で始まるデバイス名があり、この場合 **sdd** が実際のデバイスとなります。そのサイズが 2GB であることも分かります:

```
[72594.604531] usb 1-1: new high-speed USB device number 27 using xhci_hcd
[72594.770528] usb 1-1: New USB device found, idVendor=8564, idProduct=1000
[72594.770533] usb 1-1: New USB device strings: Mfr=1, Product=2, SerialNumber=3
[72594.770536] usb 1-1: Product: Mass Storage Device
[72594.770537] usb 1-1: Manufacturer: JetFlash
[72594.770539] usb 1-1: SerialNumber: 18MJTWLMPUCC3SSB
[72594.770713] usb 1-1: ep 0x81 - rounding interval to 128 microframes, ep desc says 255 microframes
[72594.770719] usb 1-1: ep 0x2 - rounding interval to 128 microframes, ep desc says 255 microframes
[72594.771122] usb-storage 1-1:1.0: USB Mass Storage device detected
[72594.772447] scsi host8: usb-storage 1-1:1.0
[72595.963238] scsi 8:0:0:0: Direct-Access JetFlash Transcend 2GB 1100 PQ: 0 ANSI: 4
[72595.963626] sd 8:0:0:0: [sdd] 4194304 512-byte logical blocks: (2.14 GB/2.00 GiB)
[72595.964104] sd 8:0:0:0: [sdd] Write Protect is off
[72595.964108] sd 8:0:0:0: [sdd] Mode Sense: 43 00 00 00
[72595.965025] sd 8:0:0:0: [sdd] No Caching mode page found
[72595.965031] sd 8:0:0:0: [sdd] Assuming drive cache: write through
[72595.967251] sdd: sdd1
[72595.969446] sd 8:0:0:0: [sdd] Attached SCSI removable disk
```

6. 次のコマンドを入力します: **dd if=path/to/the/ISO/file of=/dev/sdX bs=1M**

X はお使いのデバイス名で、例えば: /dev/sdd です

例: **dd if=/home/user/Downloads/Mageia-6-x86_64-DVD.iso of=/dev/sdd bs=1M**



if が input file を、of が output file を表すということを知っていると役に立つかもしれません

7. 次のコマンドを入力します: **sync**
8. これが手順の終わりです、お使いの USB スティックを抜くことができます。

2. Mageia をライブ システムとしてブートする

2.1. メディアをブートする

ライブ DVD や USB から直接ブートすることができます。通常は、USB デバイスを差し込むか DVD をドライブに挿入してコンピュータを再起動するだけです。

コンピュータが USB や DVD から自動的にブートしなければ、お使いの BIOS の起動デバイスの優先順位の設定を変更する必要があるかもしれません。あるいは、どのデバイスから起動するかを選択するメニューを試してみるとよいでしょう。



コンピュータの開始時に BIOS や起動メニューにアクセスするには、BIOS の場合に **F2**, **Del**, **Esc** のいずれかを、起動デバイス メニューの場合に **Esc**, **F8**, **F10**, **F11** のいずれかを押ししてみてください。



ライブ メディアからのブート時に最初に表示される画面は、お使いのコンピュータのマザーボードが Legacy (BIOS) か UEFI かの種類によって変わります。

2.2. BIOS/CSM/Legacy モード



BIOS モードにおけるブート時の最初の画面

#####

- **Mageia を起動**

これを選択すると、接続された DVD/USB メディアから Mageia ライブ システムをブートします (OS をインストールした場合と比べて非常にシステムが遅くなると思ってください)。

ブートが完了すれば、インストールを行うことができます。

- + 非フリーなビデオ ドライバ (起動がより遅くなります)

非フリーなビデオ ドライバを用いて Mageia ライブ システムをブートします。

- **Mageia をインストール**

この選択肢は Mageia をハード ディスクにインストールします。

- + 非フリーなビデオ ドライバ (起動がより遅くなります)

非フリーなビデオ ドライバを用いて Mageia をインストールします。

- **メモリをテスト**

#####

複数回の読み書き操作を行うことで、装着された RAM をテストします。再起動するとテストを終了します。

- **F2 言語**

F2 を押すとインストール時の使用言語を指定します。矢印キーで言語を選択して **Enter** を押します。

2.3. UEFI モード



UEFI モードにおけるブート時の最初の画面

#####

- **Mageia を起動**

これを選択すると、接続された DVD/USB メディアから Mageia ライブ システムをブートします (OS をインストールした場合と比べて非常にシステムが遅くなると思ってください)。ブートが完了すれば、インストールを行うことができます。

- **Mageia をインストール**

この選択肢は Mageia をハード ディスクにインストールします。

- **F2 言語**

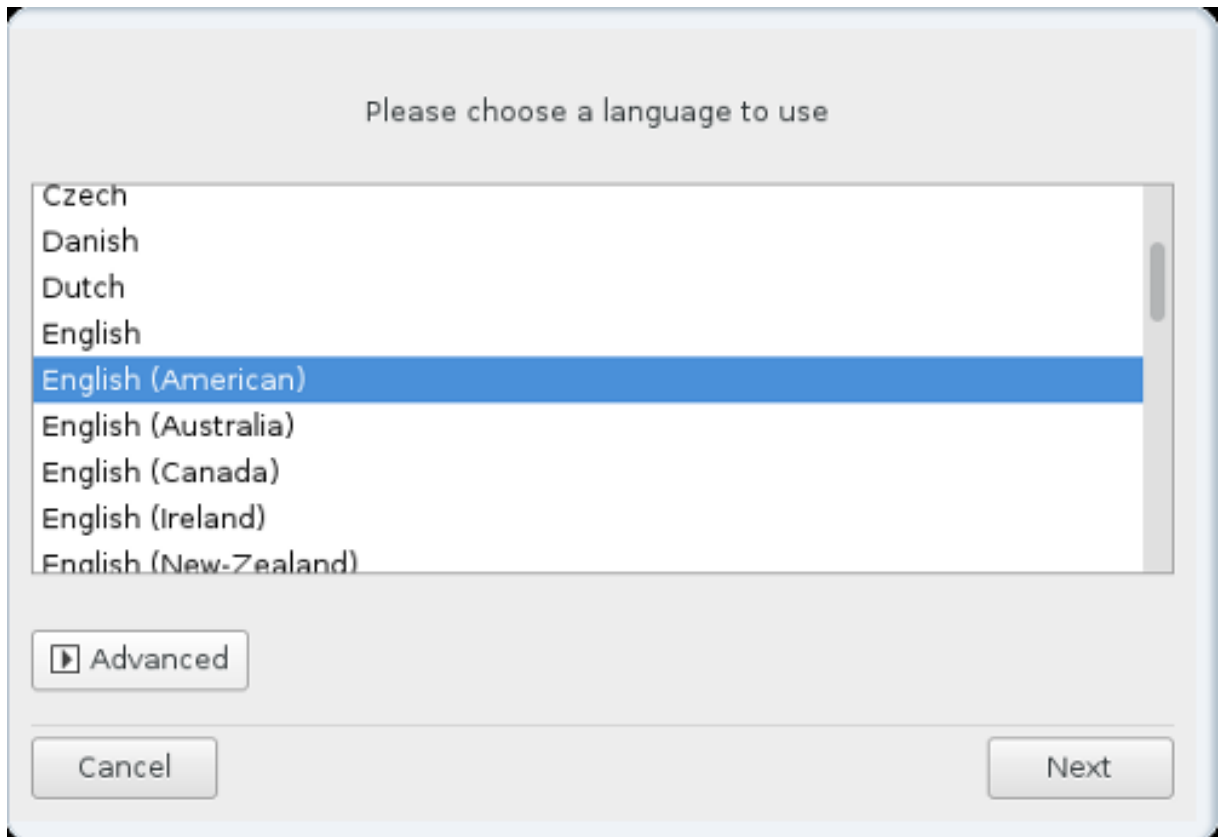
F2 を押すとインストール時の使用言語を指定します。矢印キーで言語を選択して **Enter** を押します。



USB スティックからブートした場合、上のメニュー項目と同じ項目が表示されますが、"USB" で終わるメニューのペアを選択してください。

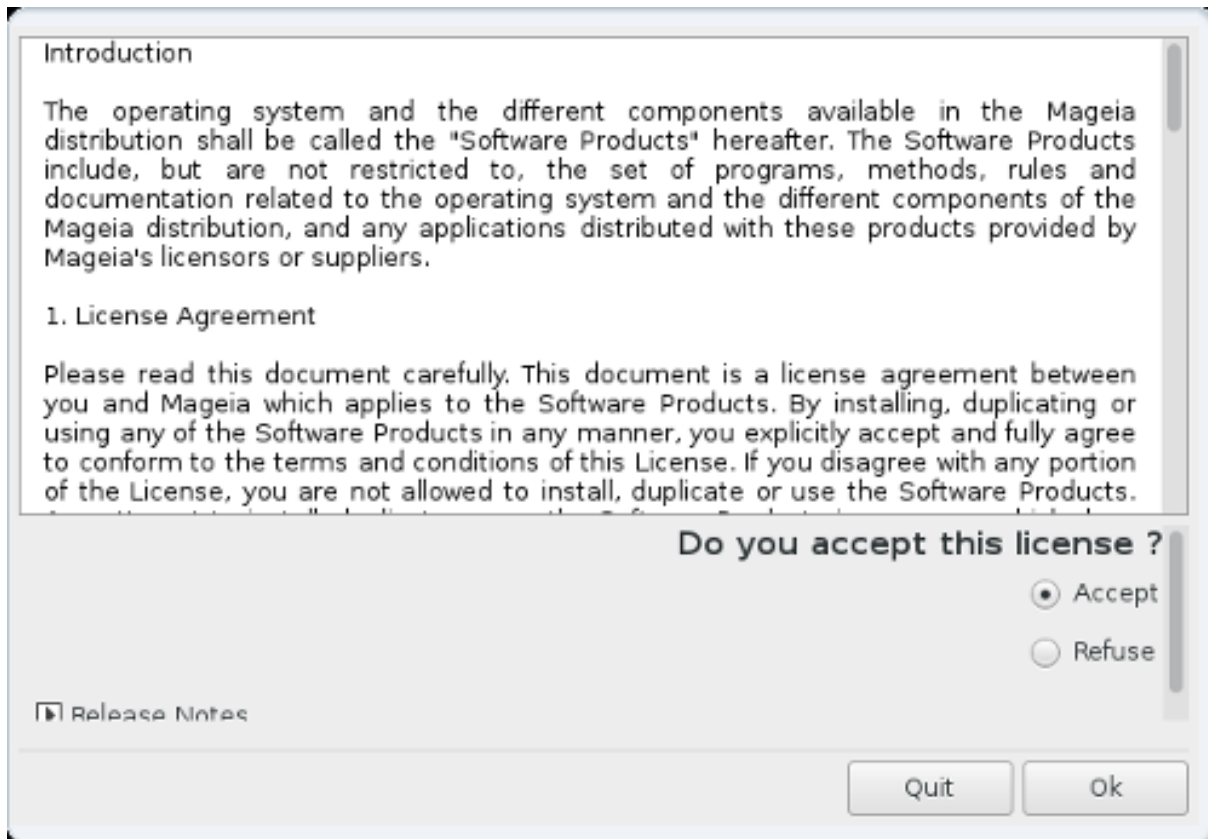
3. 使用する言語を選択する

- お好みの言語を選択します。Mageia はインストールの間とインストール後のシステムにこの選択を適用します。



- Mageia は既定で UTF-8 (Unicode) をサポートしています。これはあなたの言語で適切でないと分かっている場合に#####画面で無効にすることができます。UTF-8 を無効にするとすべてのインストール済みパッケージに適用されます。
- お使いのシステムの言語はインストール後に Mageia コントロール センター # システム # システムの言語を設定 で変更できます。

4. 使用許諾契約とリリース ノート



4.1. 使用許諾契約の同意

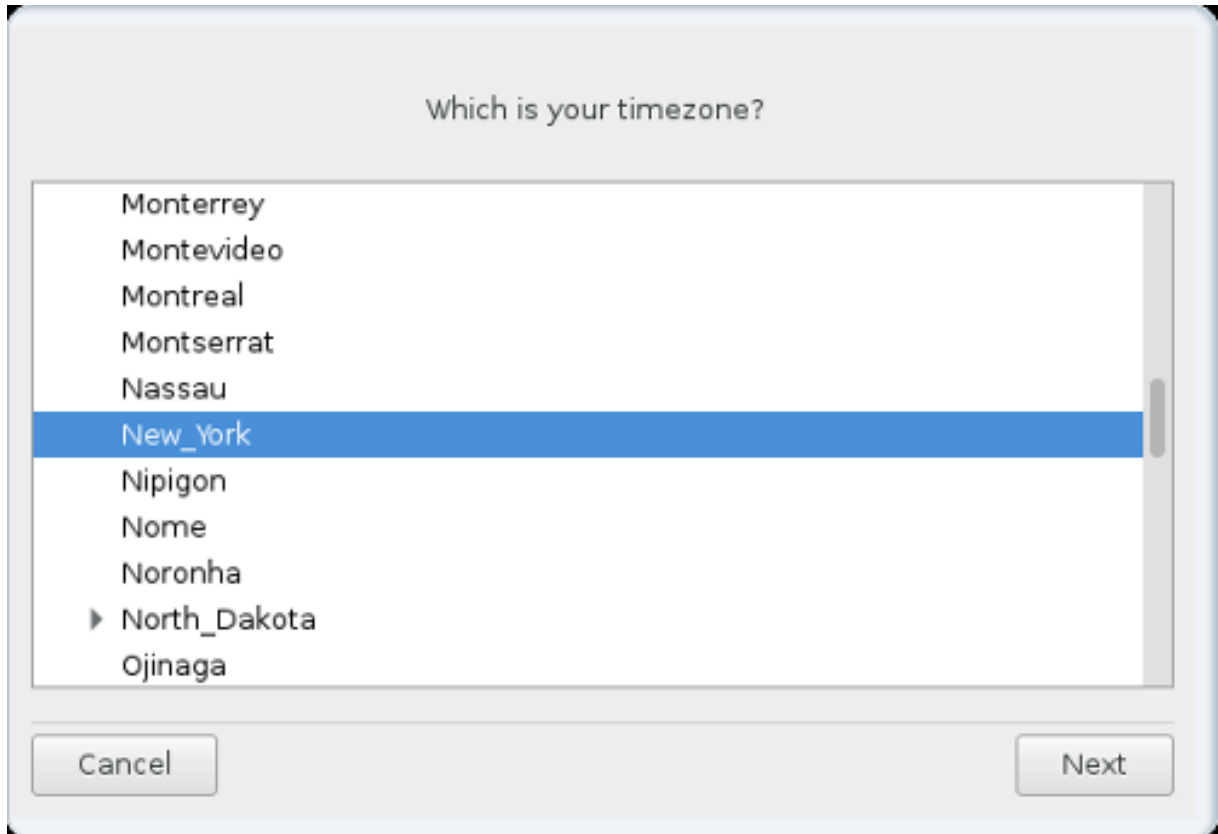
- Mageia をインストールする前に使用許諾契約の内容をよくお読みください。
- これらの使用許諾契約の内容は、Mageia デイストリビューション全体に適用され、あなたは続行する前にこれらに同意しなくてはなりません。
- 続行するには、単純に#####を選択して##をクリックします。

もしこれらの条件を承諾しないと決めたのであれば、私たちはあなたが Mageia に興味をお持ちいただいたことに感謝します。##をクリックするとコンピュータは再起動します。

4.2. リリース ノート

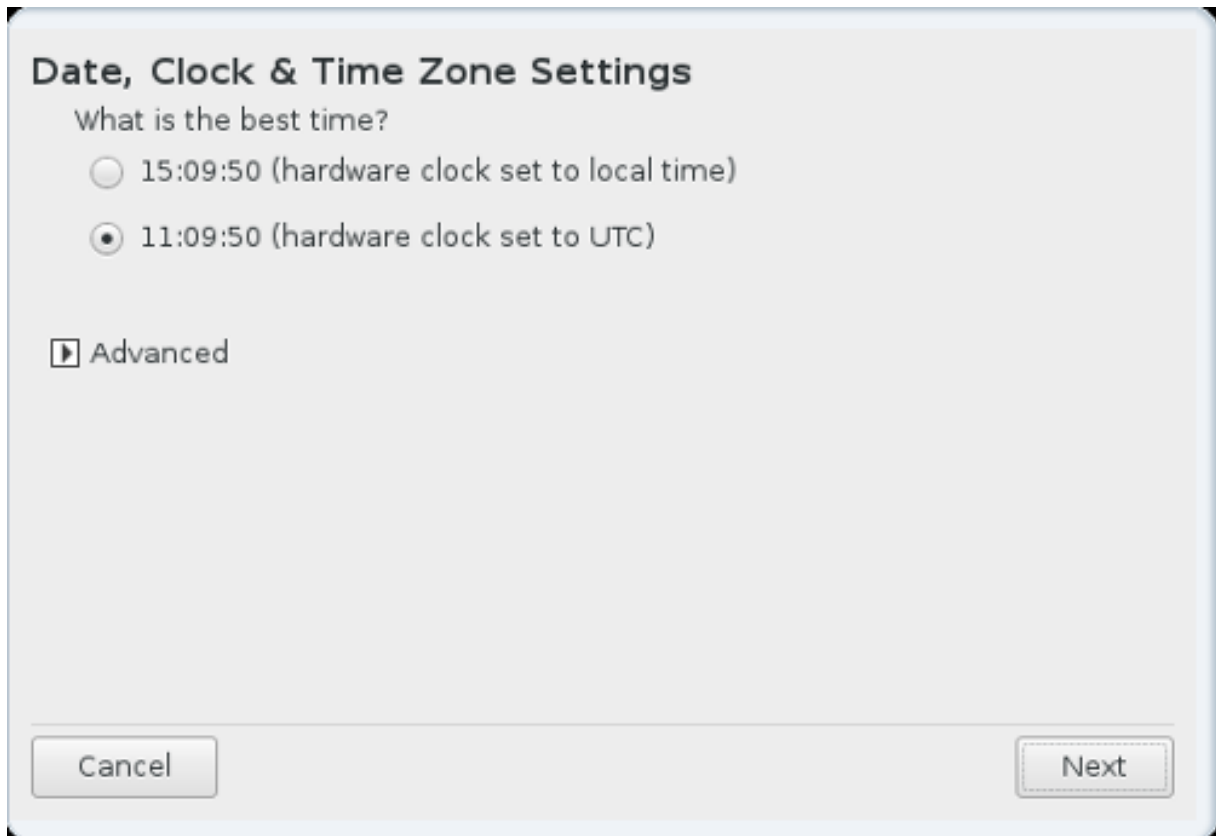
この特定の Mageia リリースについての重要な情報は##### ## ボタンをクリックすることで参照できます。

5. タイムゾーンを設定する



- Select your timezone by choosing your country, or a city close to you in the same timezone.
- In the next screen you can configure your hardware clock and enable time synchronization.

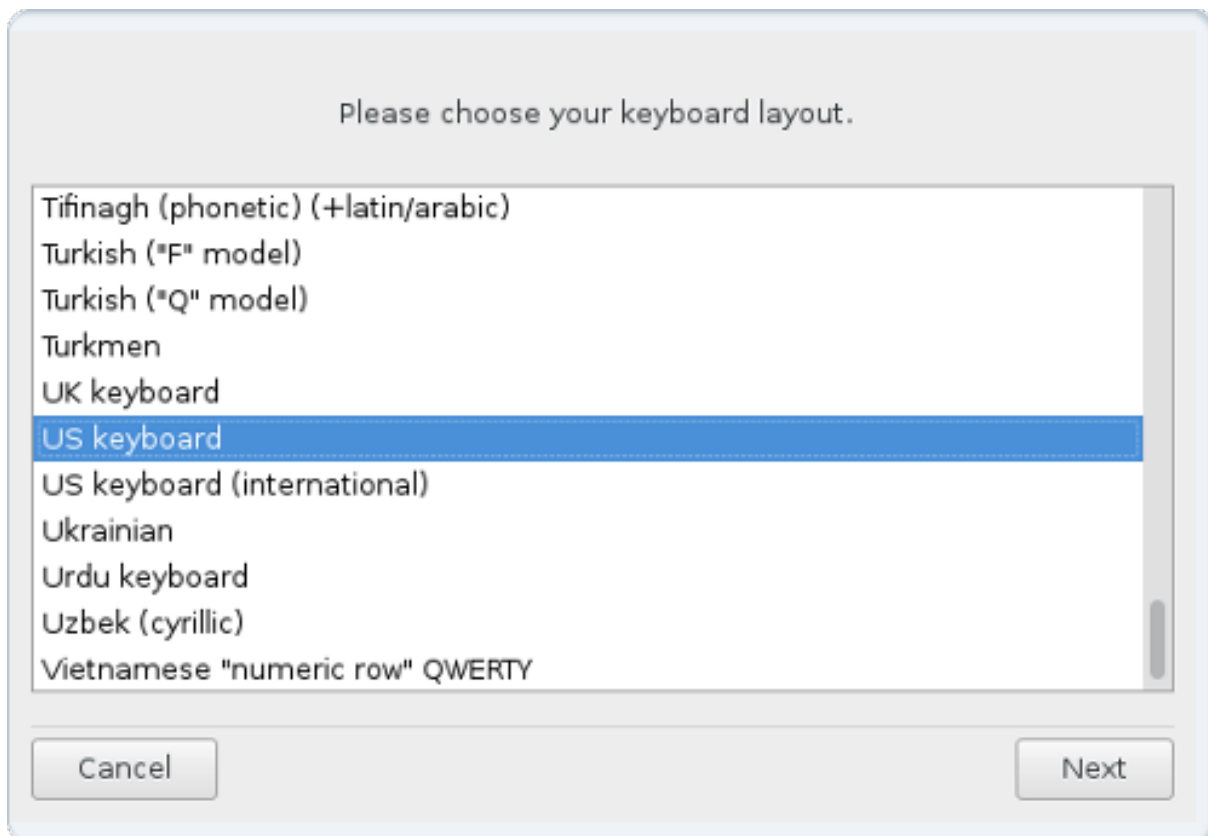
6. 時計の設定



ここでは、コンピュータの内部時計がローカル時間と UTC 時間のどちらに設定されているかを選択することができます。

##タブでは、自動時刻同期の有効化と NTP サーバの指定が行えます。

7. キーボードを選択する



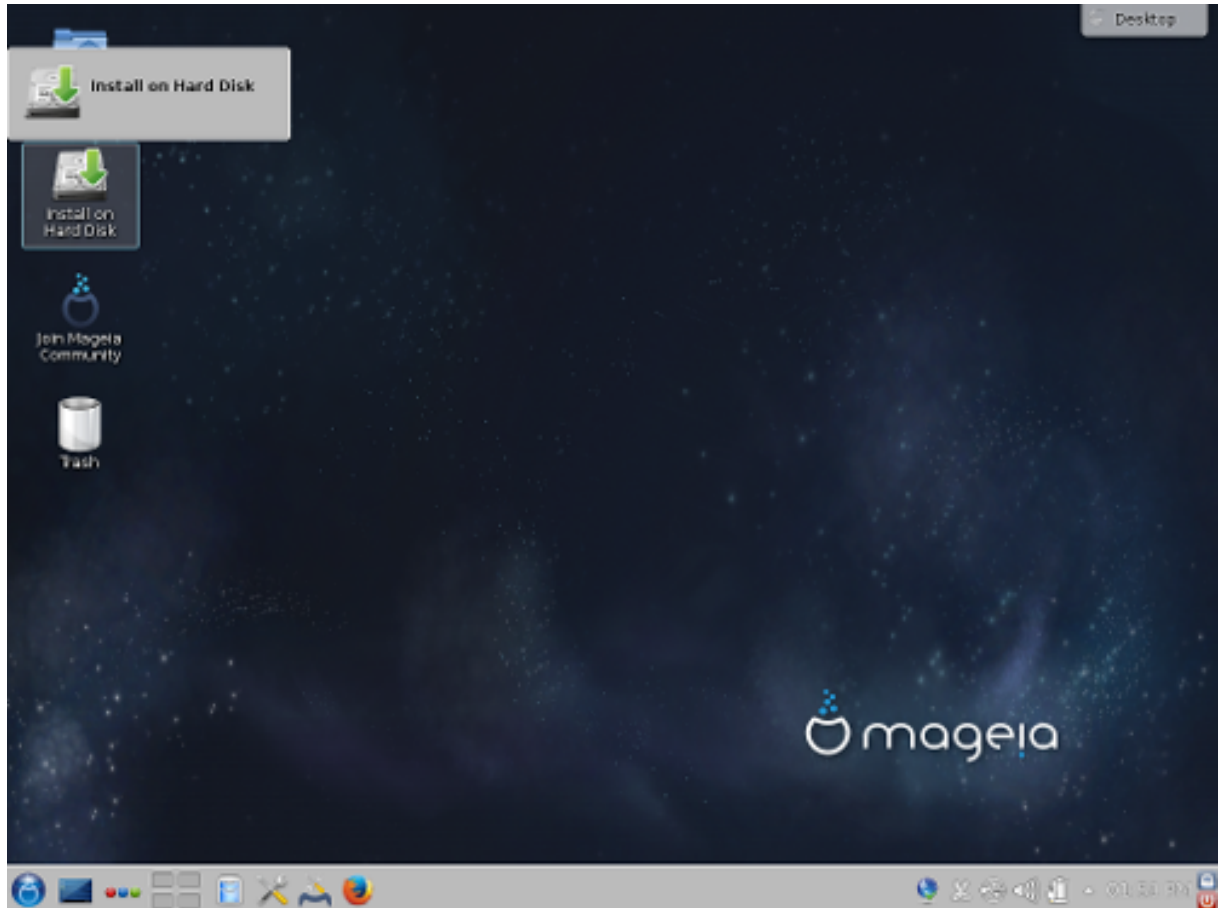
ここでは Mageia で使用したいキーボード レイアウトを設定できます。

提案されるキーボード レイアウト (強調表示されます) は、以前に選択した言語とタイムゾーン
の選択に基づいて選択されたものとなります。

8. Mageia をライブ システムとしてテストする

8.1. ライブ モード

これはライブ メディア メニューから **Mageia** を起動を選択した場合に表示される画面です。



8.1.1. ハードウェアをテストする

ライブ モードを使用する目的の一つは、お使いのハードウェアが Mageia によって正しく管理されるかをテストすることです。Mageia コントロール センターのハードウェア セクションの中ですべてのデバイスにドライバがあるかをチェックできます:

- ネットワーク インターフェース: net_applet で設定します。
- グラフィックス カード: 前の画面が見えていれば、既に OK です。
- サウンド: ジングルが既に再生されています。
- プリンタ: お使いのプリンタを設定し、テスト ページを印刷します。
- スキャナ: ドキュメントをスキャンします。

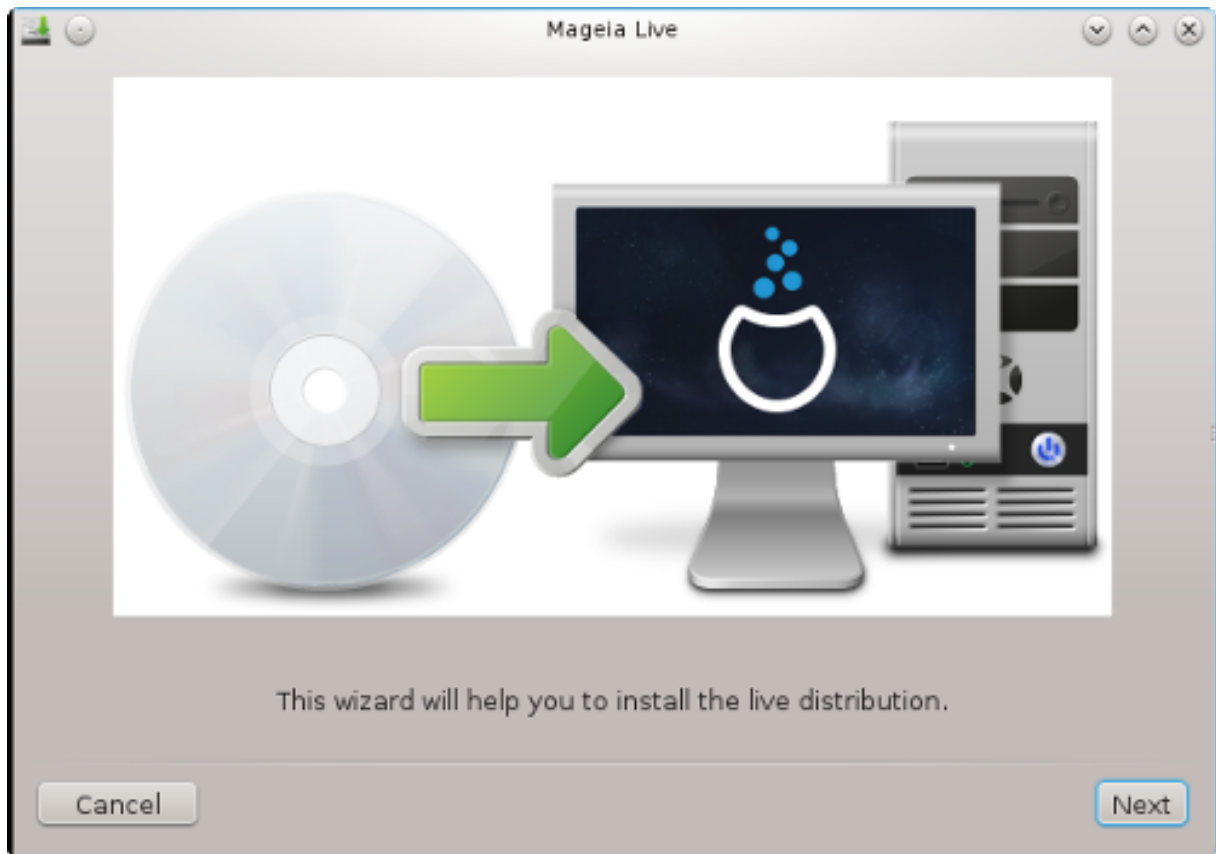
すべて満足のいくものであったなら、インストールに進むことができます。そうでなければ、# ボタンを使用して終了することができます。



ここであなたが行った設定はインストールに進むことを決めた場合にも持ち越されません。

8.1.2. インストールを実行する

ライブ DVD をハード ディスクや SSD ドライブにインストールするには、単純にライブ デスクトップ上の *Ἰνσταλλὸν Ἡαρδὸ Δίσκ* のアイコンをクリックします。次にこの画面が表示され、[パーティションの設定](#) のステップに続きます。

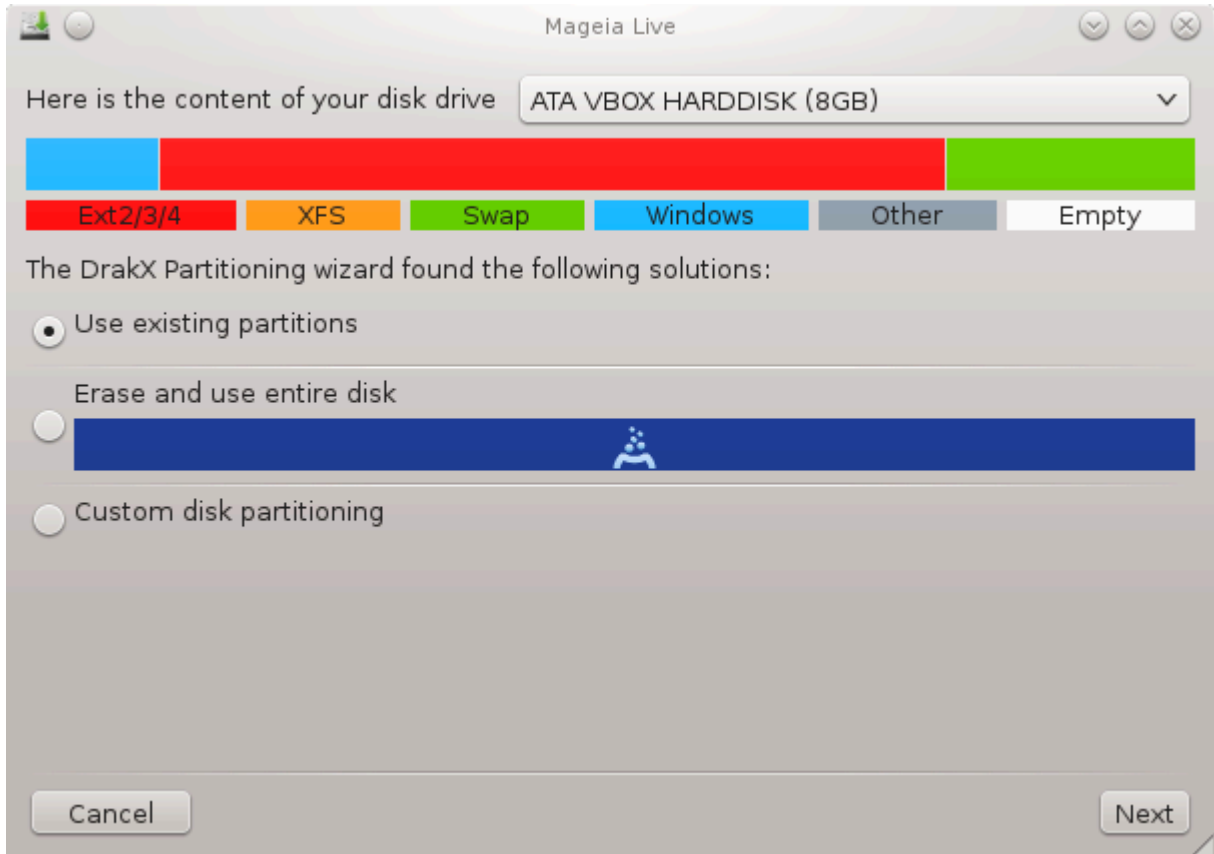


9. パーティションの設定

9.1. 自動パーティション設定

この画面ではお使いのハードドライブの内容を DrakX による Mageia のインストール先の提案と一緒に見ることができます。

下に示された中から実際に利用可能な選択肢は、お使いの特定のハードドライブのレイアウトや内容によって変化します。



#####

- **既存のパーティションを使う**

この選択肢が利用できる場合、既存の Linux 互換のパーティションが見つかっており、インストールに使用できます。

- **空き領域を使う**

お使いのハードドライブに未使用の領域がある場合にこの選択肢はそこを新しい Mageia のインストールに使用します。


- **Windows パーティションの空き領域を使う**

既存の Windows パーティションに空き領域がある場合、インストーラはこれを使用することを提案するかもしれません。これは新しく Mageia をインストールする領域を作成するための有用な方法になりえますが後述の警告を参照してください。

この選択肢では、インストーラは残っている Windows パーティションを明るい青色で、Mageia 用に提案されたパーティションを暗い青色で、それぞれサイズも反映して下に表示します。これらのサイズは両方のパーティションの隙間のクリックとドラッグで変更できます。次のスクリーンショットをご覧ください:

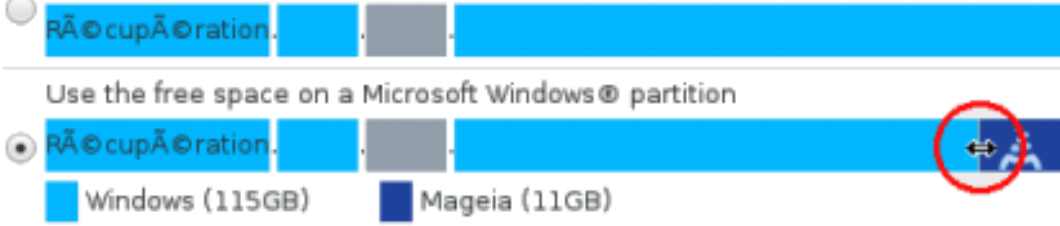
PARTITIONING

Here is the content of your disk drive Maxtor 6L160M0 (152GB)



The DrakX Partitioning wizard found the following solutions:

- Use free space
- Use the free space on a Microsoft Windows® partition
- Erase and use entire disk
- Custom disk partitioning



[Help](#) Next



これは Windows のパーティションのサイズを縮めることを伴い、それ故にリスクを伴う操作となります。そのため、続行する前にすべての大事なファイルを確実にバックアップしておくべきです。



パーティションは "クリーン" でなければならず、これは Windows を前回使用したときに正常に終了していなければならないことを意味します。また、このパーティション内のすべてのファイルがこれから Mageia 用に使用する領域から出ていくという保証ではないもののデフラグもされている必要があります。

• ディスク全体を消去して使用

この選択肢ではドライブの全体を Mageia 用に割り当てます。



これは選択されたハード ドライブ上のすべてのデータを削除します。気をつけてください! ディスクの一部を他の用途で使用するつもりであるか、もしくは既にドライブ上にデータがあってそれが削除されることに備えていない場合、この選択肢は使用しないでください。

• パーティションを手動で設定

これはお使いのハードドライブ上のインストール場所を完全にコントロールすることができます。

#####を選択しない場合、インストーラは利用可能な領域を以下のルールに従って割り当てます:

- 合計空き領域が 50 GB 未満の場合、パーティションが一つだけ作られます。これは / (ルート) パーティションになります。
- 合計空き領域が 50 GB を超える場合、三つのパーティションが作成されます。
 - 合計空き領域の 6/19 が / に最大で 50 GB 割り当てられます。
 - 1/19 が ##### に最大で 4 GB 割り当てられます。
 - 残り (最低でも 12/19) が /home に割り当てられます。

これは 160 GB を超える空き領域がある場合にインストーラが三つのパーティションを作成することを意味します:

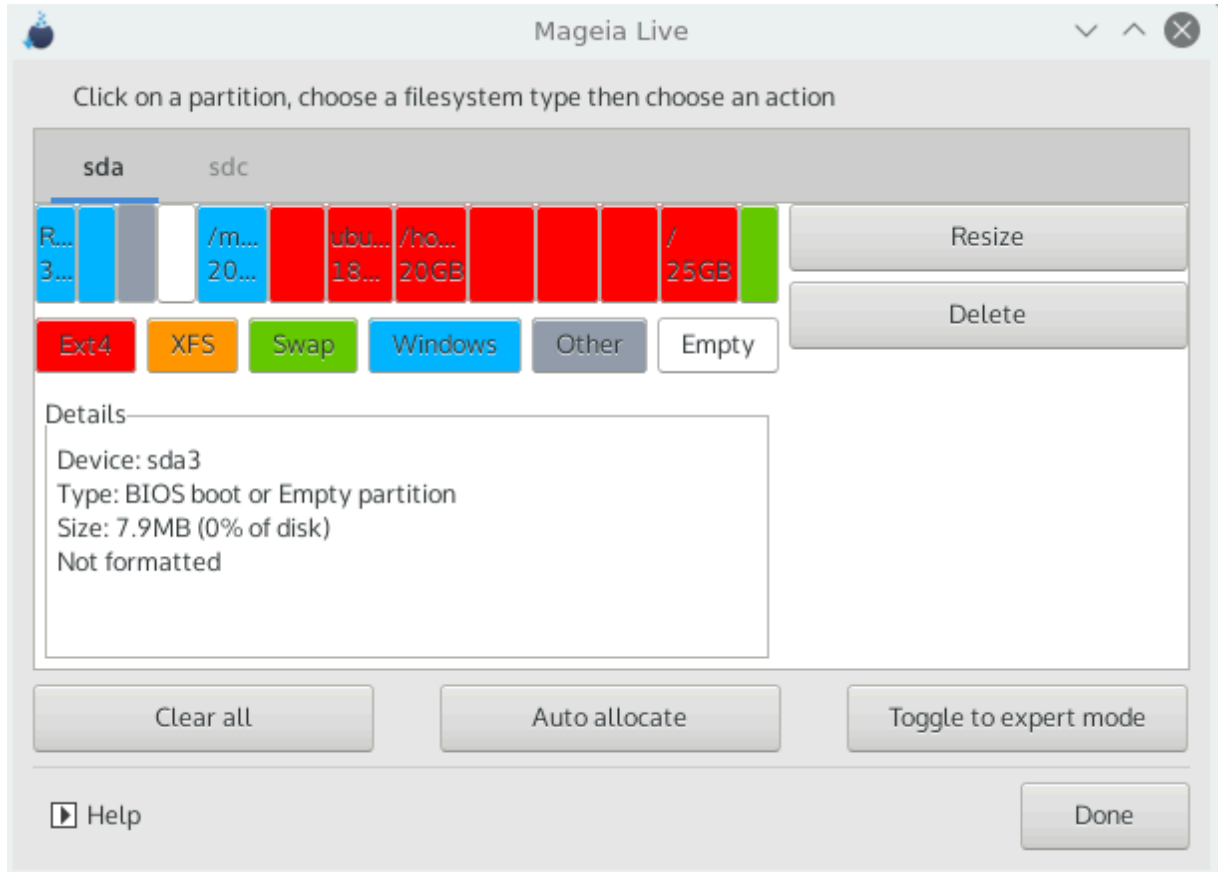
- / 用に 50 GB
- #####用に 4 GB
- /home 用に残りすべて



UEFI システムをお使いの場合、ESP (EFI システム パーティション) が自動的に検出され - 存在しなければ作成されて - /boot/EFI にマウントされます。これが正常に行われたかをチェックする唯一の方法は#####を選択することです。

Legacy (別名 BIOS) システムで GPT を用いたディスクをお使いの場合、BIOS ブートパーティションが存在しなければこれを作成する必要があります。これはマウントポイントのない約 1 MiB のパーティションとすべきです。#####でファイルシステムの種類を「BIOS boot partition」にすると、インストーラが他のパーティションのようにこれを作成することができます。

続行する方法の詳細は [DiskDrake](#) を参照してください。



幾つかの新しいドライブは従来の標準である 512 バイトの論理セクタの代わりに 4096 バイトの論理セクタを現在使用しています。利用可能なハードウェアが不足しているため、インストーラで用いられるパーティション管理ツールはこのようなドライブをテストしていません。

幾つかの SSD デバイスは現在 1 MB より大きな削除ブロック サイズを使用しています。そのようなデバイスをお持ちの場合、私たちは gparted のような代替のパーティション管理ツールを用いて事前にドライブのパーティションを設定しておき、以下の設定を用いることを提案します:

- ##### = MiB
- ##### (MiB) = 2

すべてのパーティションが偶数のメガバイト単位で作成されていることも確認してください。

9.2. マウント ポイントを選択する

パーティションの設定

マウント ポイントを選択

sda5 (11GB, ext4)	<input type="text" value="/"/>
sda7 (4.1GB, ext4)	<input type="text" value="/home"/>
sda8 (8.1GB, ext4)	<input type="text"/>
sda9 (13MB, ext4)	<input type="text"/>

ヘルプ

戻る 次へ

ここでお使いのコンピュータ上で見つかった Linux パーティションが見られます。DrakX が提案する内容を承諾しないのであれば、自分でマウント ポイントを変更することができます。

- ドロップ ダウン メニュー群の左側にあるのは利用可能なパーティションの一覧です。例: sda はハード ドライブで - 5 は#####、これにパーティションの (##, #####, #####) が続きます。
- 幾つかのパーティションがある場合、異なる複数の#####をドロップ ダウン メニューから /, /home, /var のように選択できます。自分でマウント ポイントを入力することも可能で、例えば映画保存用の /video や、データ保存用の /Data などです。
- 使用する必要のないパーティションに対しては、マウント ポイントの欄を空白にすることができます。



ここで変更を行った場合、/ (ルート) パーティションが存在していることを確認してください。



どれを選択するか分からない場合、##をクリックして戻り、#####をクリックしてください。そこでは、パーティションをクリックするとその種類とサイズが参照できます。

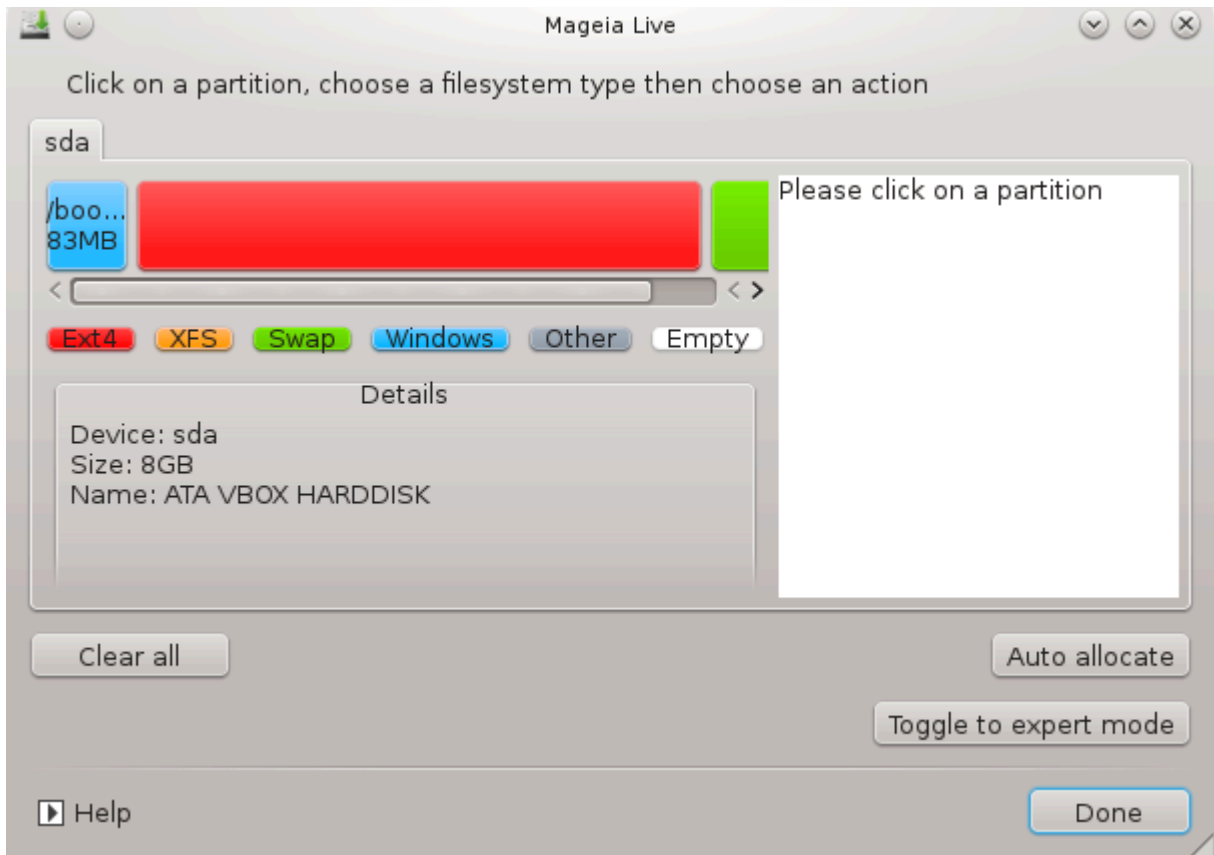
マウント ポイントが正しいことが確認できたら、##をクリックし、DrakX が提案するパーティションのみをフォーマットするか他のパーティションもフォーマットするかを選択します。

9.3. ハード ディスクをフォーマットするか確認する



- 選択に全く自信がなければ##をクリックします。
- ハード ディスク上のすべてのパーティション, すべてのオペレーティング システム, すべてのデータを削除して構わないのであれば##をクリックして続行します。

9.4. DiskDrake によるパーティションのカスタム設定



- ここでお使いのディスクのレイアウトを変更します。パーティションの削除や作成を行ったり、パーティションのファイルシステムやサイズを変更したり、そして処理前にそれらの詳細を見ることさえできます。
- 検出された各ハードディスク(または他の USB キーのようなストレージ デバイス)の上部にタブがあります。例えば: sda, sdb, sdc などです。
- 他のすべての操作: はじめにパーティションをクリックします。次に表示, ファイルシステムやマウントポイントの選択, サイズ変更, 削除を行います。##### はパーティションにラベル(名前)を付けたりパーティションの種類を選択したりといった追加の項目を提供します。
- すべての満足いくまで調整し終わるまで続けた後、準備ができたなら##をクリックします。

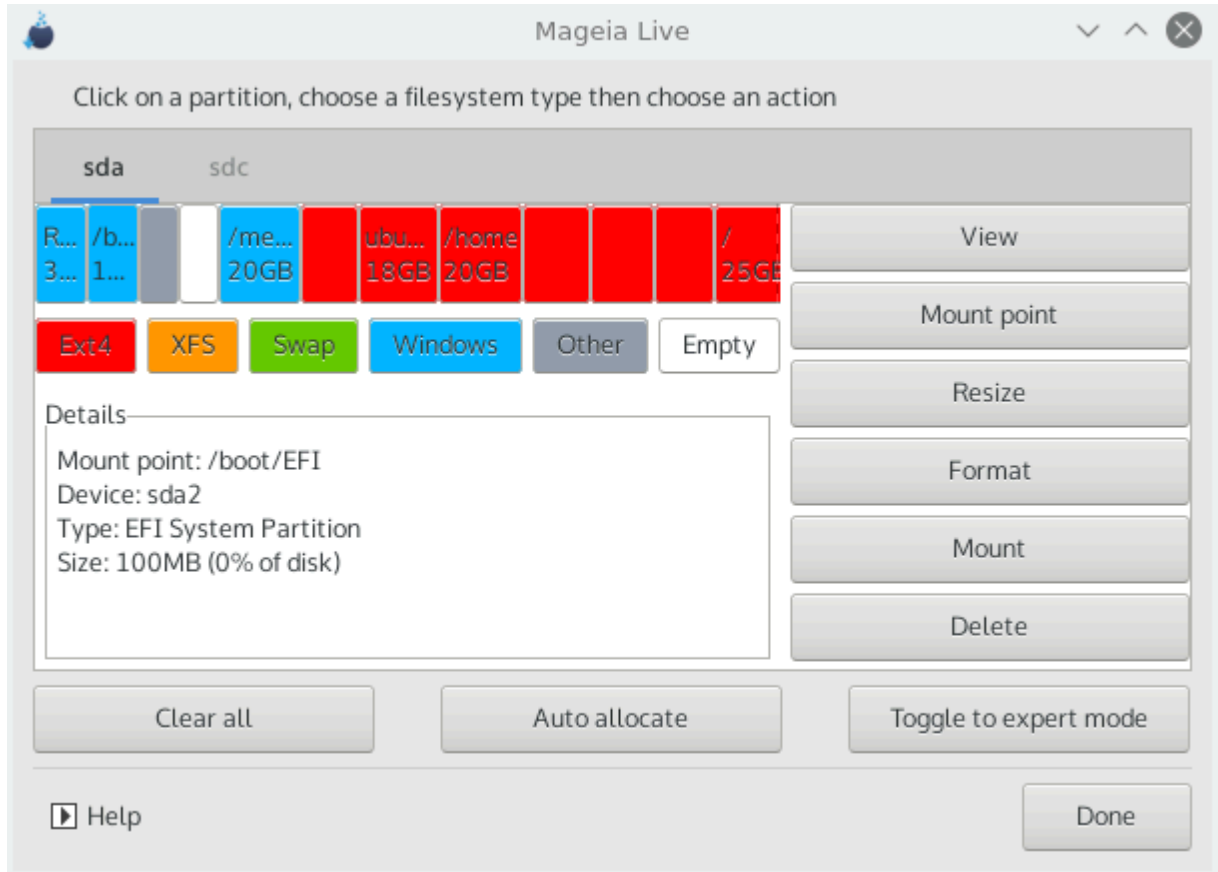


1. #####の項目には注意してください、これは選択されたストレージ デバイス上のすべてのパーティションを削除する場合にのみ使用します。
2. /パーティションを暗号化したい場合、これとは別に /boot パーティションがなければなりません。/boot パーティションに対する暗号化は設定してはならず、設定した場合はお使いのシステムは起動不能になります。



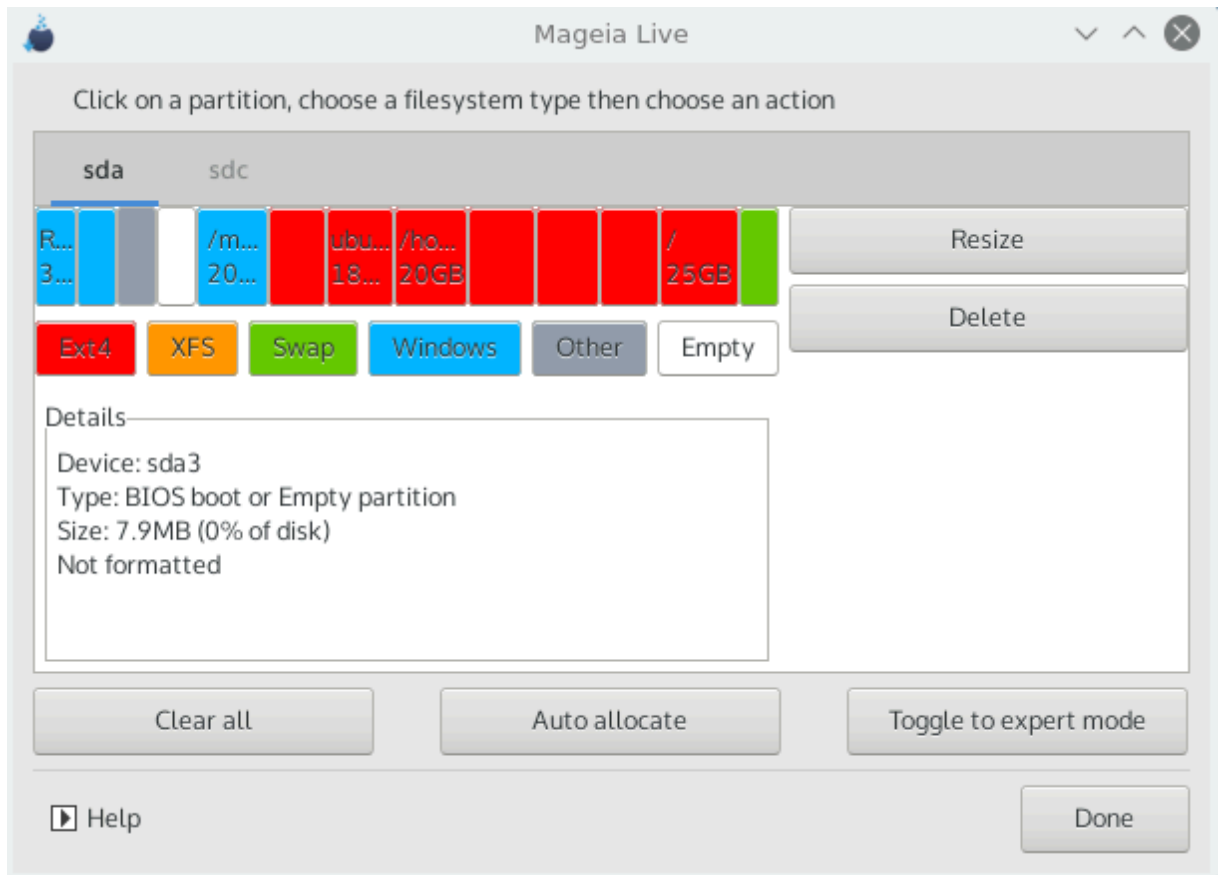
- Mageia を UEFI システムにインストールしている場合、ESP (EFI システム パーティション) が存在し、/boot/EFI に正しくマウントされているかをチェックしてください。下の図 1 を参照してください。
- Mageia を Legacy/GPT システムにインストールしている場合、BIOS ブート パーティションが存在し、種類が正しいことをチェックしてください。下の図 2 を参照してください。

#####



#1 EFI #####

#####



#2 BIOS ### #####

9.5. フォーマット



ここではフォーマットしたいパーティションを選択できます。フォーマット指定をして###パーティション内のデータは残ります。

通常、少なくとも DrakX が選択したパーティションはフォーマットする必要があります。

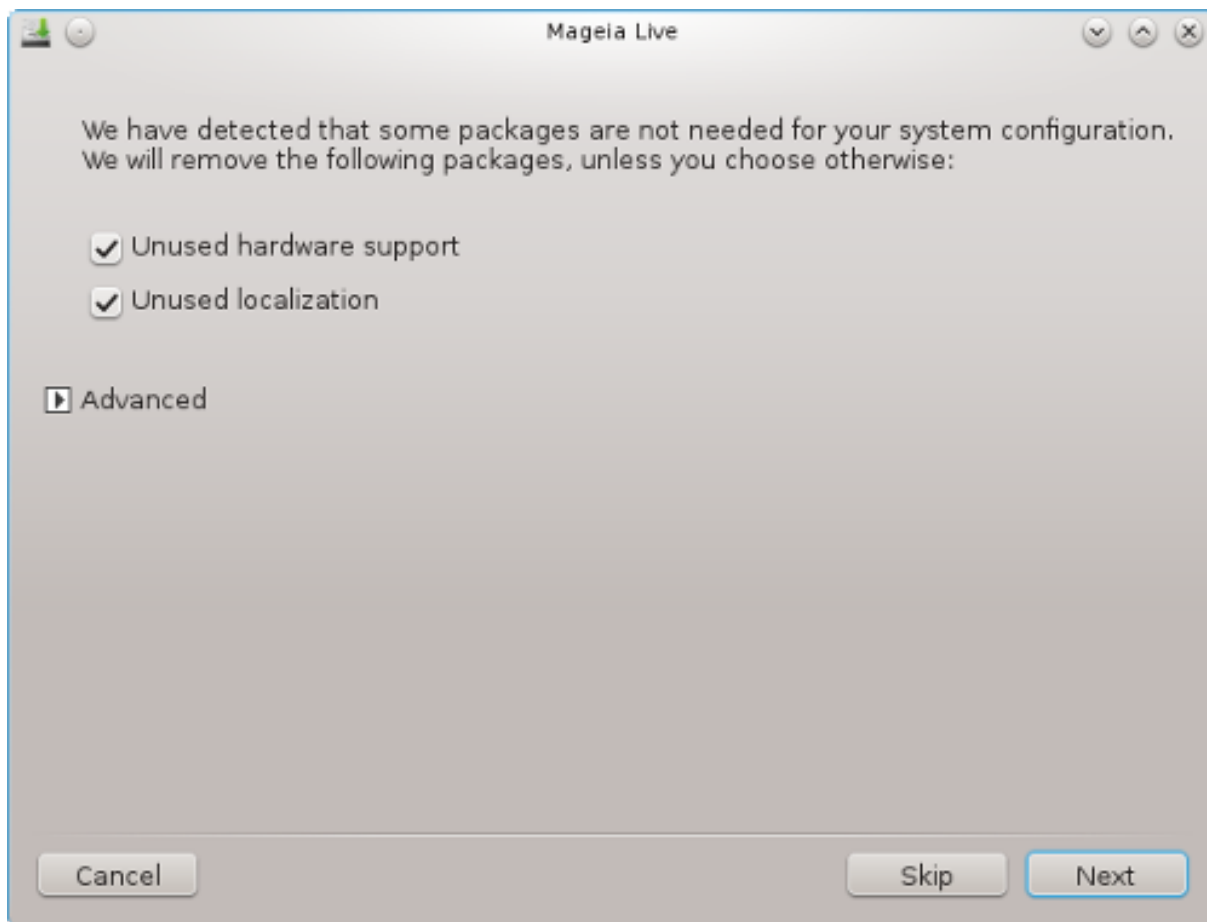
##をクリックすると、いわゆる#####のチェックをしたいパーティションを選択できます。



正しい選択をしたか自信がない場合、##をクリックして再度##をクリックし、次に## ##をクリックするとメイン画面に戻ります。この画面ではパーティションの内容を見ることができます。

選択に自信があれば、##をクリックして先に進みます。

10. 使用されていないものを残すか削除する



このステップでは、インストーラは使用されていないロケール パッケージと使用されていないハードウェア パッケージを探し、ここでそれらを削除する機会が与えられます。

新しくインストールされる OS を今後異なるハードウェアで動かしたり言語ファイルを追加したりする必要がないと分かっているのであれば、この提案を受け入れてもよいでしょう。

##をクリックすると使用されていないハードウェアや言語ファイルの一覧が表示され、これらは続行すると削除されます。



次の段階はハードディスクへのファイルのコピーです。これが完了するまでにはしばらくかかるはずですが、完了すると、少しの間画面が黒くなります - これは正常です。

11. ブートローダ

11.1. 利用可能なブートローダ

11.1.1. Grub2

レガシー MBR/GPT システム上の Grub2

- GRUB2 (グラフィカル表示ありとなし) は Legacy/MBR または Legacy/GPT のシステムで排他的に用いられます。
- 既定では、新しいブートローダは 第一ハード ディスクの MBR (Master Boot Record) または BIOS ブート パーティションに書き込まれます。

UEFI システム上の Grub2-efi

- UEFI システム用のブートローダとして GRUB2-efi または rEFInd が使用できます。
- 既定では、新しいブートローダ (Grub2-efi) は ESP (EFI System Partition) に書き込まれます。

UEFI に基づいたオペレーティング システム (例えば Windows 8) がお使いのコンピュータにインストール済みであれば、Mageia のインストーラは Windows に作成された既存の ESP を検出し、grub2-efi を追加します。ESP が存在しない場合、これが一つ作成されます。ESP は複数存在できますが、オペレーティング システムの数に関わらず一つだけが必要です。

11.1.2. rEFInd

UEFI システム上の rEFInd

- rEFInd は選択肢をグラフィカルに表示し、インストール済みの EFI ブートローダを検出することもできます。次を参照してください: <http://www.rodsbooks.com/refind/>



rEFInd の選択肢を使用できるようにするには、インストールされている EFI システムパーティションがお使いのシステムアーキテクチャに合っていない点にご留意ください: 例えば、64bit マシンに 32bit の EFI システムパーティションがインストールされている場合、rEFInd の選択肢は表示されず利用できません。

11.2. ブートローダの設定

11.2.1. ブートローダの主な設定

The screenshot shows the 'Mageia Live' configuration window for boot loader settings. It is divided into three sections: 'Bootloader', 'Main options', and 'Security'. In the 'Bootloader' section, 'GRUB2 with graphical menu' is selected for 'Bootloader to use' and 'EFI System Partition' is selected for 'Boot device'. In the 'Main options' section, the 'Delay before booting default image' is set to '10'. In the 'Security' section, there are two empty text boxes for 'Password' and 'Password (again)'. At the bottom, there are 'Cancel' and 'Next' buttons.

- 使用するブートローダ
 - GRUB2 (グラフィカルまたはテキストのメニュー) は、##### MBR/BIOS システムと UEFI システムで選択できます。
 - rEFInd (グラフィカル表示) は代替の選択肢で、UEFI システム専用です。
- 起動デバイス



これは何をしているのか本当に分かっているのであれば変更しないでください。



GRUB をパーティション (例: sda1) のブート セクタを書き込むことはできません。この方式は信頼できないと考えられているためです。

UEFI モードの使用時、起動デバイスは EFI システム パーティションとして表示されます。

- 既定のイメージが起動するまでの秒数

このテキスト ボックスでは既定のオペレーティング システムが開始する前に空ける秒数を設定できます。

- セキュリティ

ブートローダ用のパスワードを設定できるようにします。これはブート時に項目を選択したり設定を変更したりする際にユーザ名とパスワードを訊かれることを意味します。これは任意で、ほとんどの人々は使う必要がないでしょう。ユーザ名は root で、パスワードは後でここで決めたものです。

- パスワード

ブートローダのパスワードを決めます (任意)

- パスワード (再入力)

パスワードを再入力し、DrakX は上のパスワードと一致するかをチェックします。

##

- ACPI #####

ACPI (Advanced Configuration and Power Interface) は電源管理の標準です。これは使用されていないデバイスを停止することでエネルギーを節約できます。チェックを外すと役に立つ可能性があり、例えば、お使いのコンピュータが ACPI をサポートしていないか、ACPI の実装が幾つかの問題を引き起こすとお考えの場合です (例えばランダムに再起動が起こったりシステムが固まったりする場合)。

- SMP #####

この項目はマルチ コア プロセッサで対称型マルチ プロセッシングを有効化 / 無効化します。

- APIC #####

これを有効にすると Advanced Programmable Interrupt Controller をオペレーティング システムから利用できるようになります。APIC デバイスはより複雑な優先度モデルや高度な IRQ (割り込み要求) の管理を可能にします。

- ##### APIC #####

ここでローカル APIC を設定でき、これは SMP システムにおいて特定のプロセッサに対するすべての外部割り込みを管理します。

11.2.2. ブートローダの設定

もし、前のセクションで rEFInd を使用するブートローダとして選択した場合、下のスクリーンショットに直接示した選択肢が表示されます。そうでない場合、代わりにその次のスクリーンショットに読み進めてください。

あなたの rEFInd の設定項目です:

- EFI システム パーティションに rEFInd をインストールするか、またはこれを更新します。

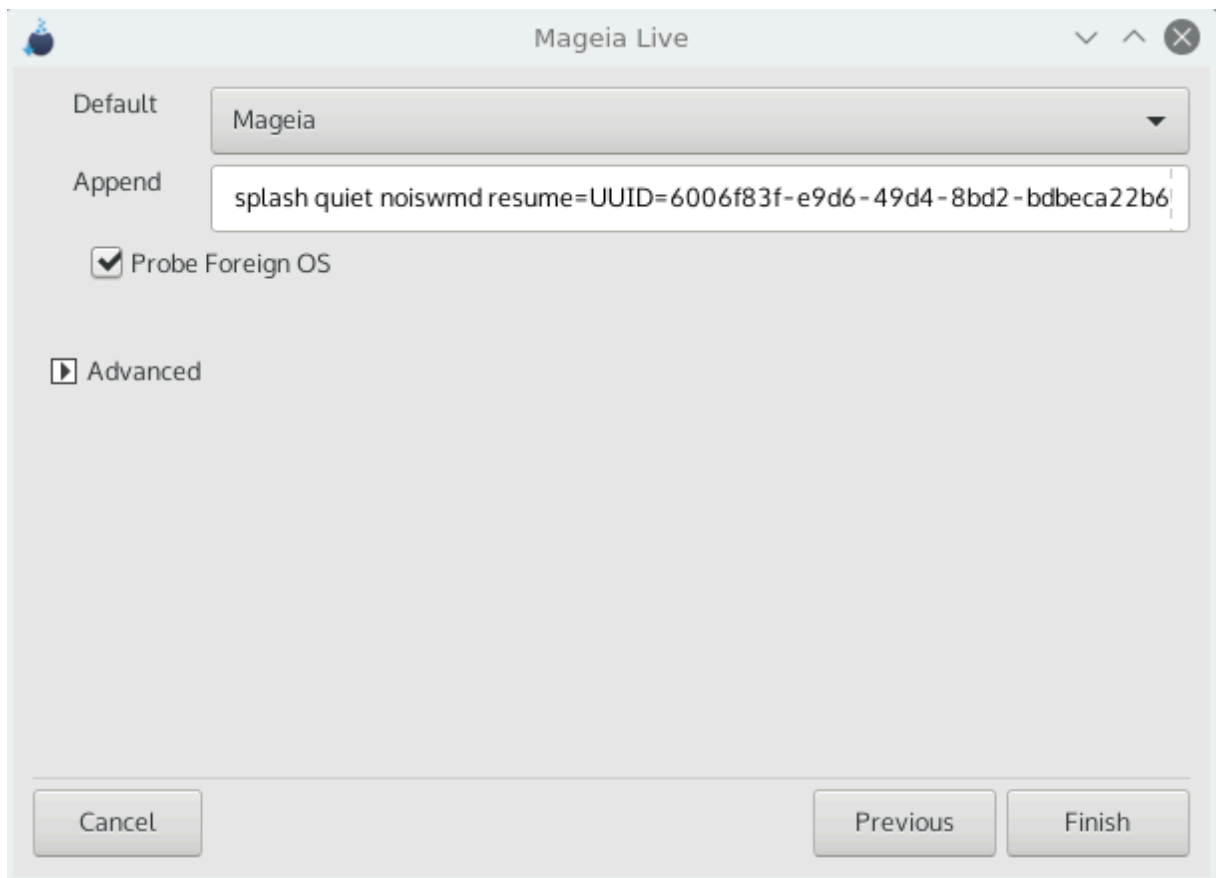
- **/EFI/BOOT にインストール**

この項目は ESP (EFI System Partition) の /EFI/BOOT ディレクトリにブートローダをインストールします。これは以下の場合に有用です:

(a) 取り外したり異なるマシンに差し込んだりできるリムーバブル ドライブ (例えば USB スティック) にインストールする場合。ブートローダが /EFI/BOOT に入っている場合、UEFI BIOS はこれを検出してそのドライブから起動することができるでしょう。

(b) UEFI BIOS の不具合によって Mageia 用に新しく書き込まれたブートローダがインストールの最後に認識されない場合の問題回避。

前のセクションで rEFInd をブートローダとして使用する選択をしていない場合、あなたのブートローダ設定項目は以下に示されます:



- **既定**

開始する既定のオペレーティング システムです。

- **追加文字列**

この項目は起動の際にカーネルに情報を渡したり、あなたにより多くの情報を渡すようにカーネルに伝えたりします。

- **他の OS がないか調べる**

既に他のオペレーティング システムがインストールされている場合、Mageia はこれらを新しい Mageia のブート メニューに追加しようとしています。この動作を望まない場合、他の OS がないか調べるの項目を外します。

- **/EFI/BOOT にインストール (メモ: このメニュー項目はマシンが UEFI モードであることをインストーラが検出した場合にのみ選択できるようになります)**

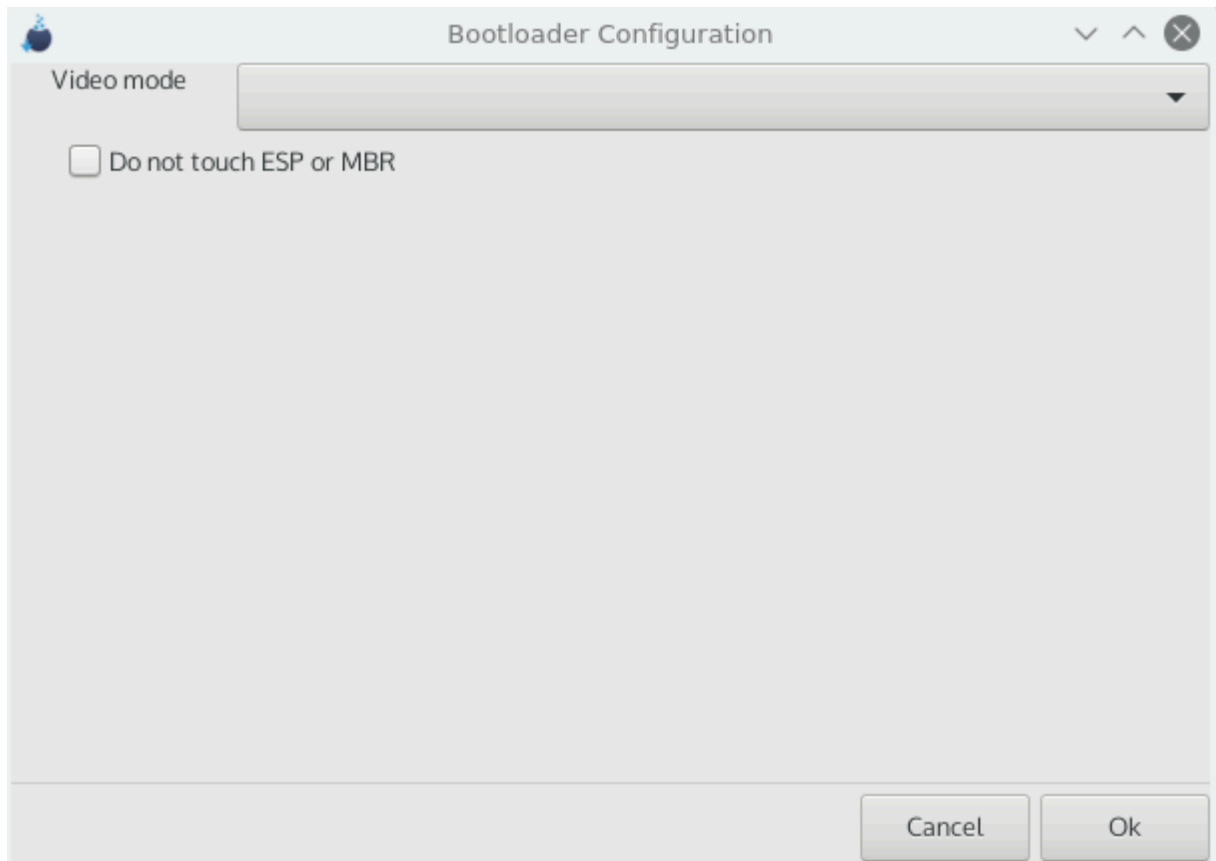
#####

この項目は ESP (EFI System Partition) の /EFI/BOOT ディレクトリにブートローダをインストールします。これは以下の場合に有用です:

(a) 取り外したり異なるマシンに差し込んだりできるリムーバブル ドライブ (例えば USB スティック) にインストールする場合。ブートローダが /EFI/BOOT に入っている場合、UEFI BIOS はこれを検出してそのドライブから起動することができますでしょう。

(b) UEFI BIOS の不具合によって Mageia 用に新しく書き込まれたブートローダがインストールの最後に認識されない場合の問題回避。

##



- ### ###

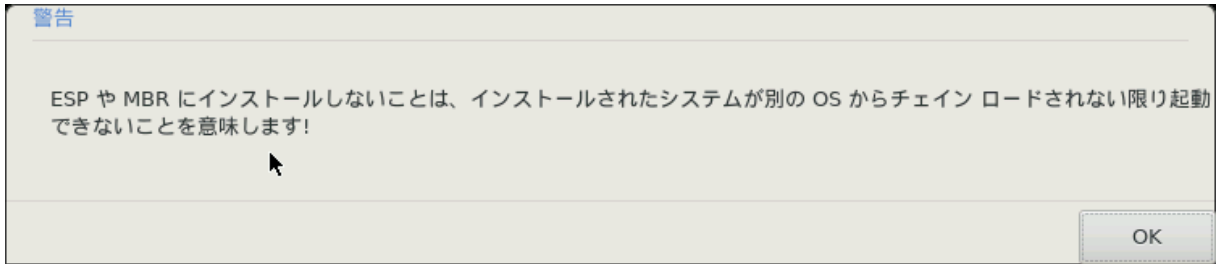
これはブートメニューで用いられる画面サイズと色深度を設定します。下向きの三角形をクリックするとサイズと色深度の他の項目が表示されます。

- EΣΠ # MBP #####

Mageia をブート可能にせずに他の OS からチェインロードしたい場合にこれを選択します。ブートローダがないことが警告されます。その結果どうなるかを確かに理解しており、かつ続行したい場合にのみ Ok をクリックします。



レガシーなブートローダ (GRUB Legacy や LiLo) を通したチェインローディングは Mageia によってサポートされなくなりました。インストールした Mageia を起動しようとした際に失敗する可能性があるためです。この目的で GRUB2 や rEFInd 以外を使用する場合、自己責任で行ってください!



11.3. その他の項目

11.3.1. 既存のブートローダを使用する

Mageia を既存のブートローダに追加する正確な手順はこのドキュメントで扱う範囲外ですが、これはほとんどの場合において Mageia の検出とその起動のためのブートローダのメニューエントリの追加を自動的に行ってブートローダをインストールする適切なプログラムを実行することになるでしょう。関連するオペレーティングシステムのドキュメントを参照してください。

11.3.2. ブートローダなしのインストール

ブートローダなしで Mageia をインストールすることを選ぶことは可能です (セクション 2.1 上級を参照)が、これはあなたが何をしているかを完全に分かっているでなければ推奨されず、何らかの形のブートローダがない限り、お使いのオペレーティングシステムは開始できません。

11.3.3. ブートメニュー項目を追加もしくは変更する

これを行うためには、`/boot/grub2/custom.cfg` を手動で編集する必要があります。もしくはソフトウェア **grub-customizer** (Mageia のリポジトリで利用できます) を代わりに使用します。



詳しい情報は、以下を参照してください:

[efi and Mageia](https://wiki.mageia.org/en/Grub2-efi_and_Mageia)

https://wiki.mageia.org/en/Grub2-efi_and_Mageia

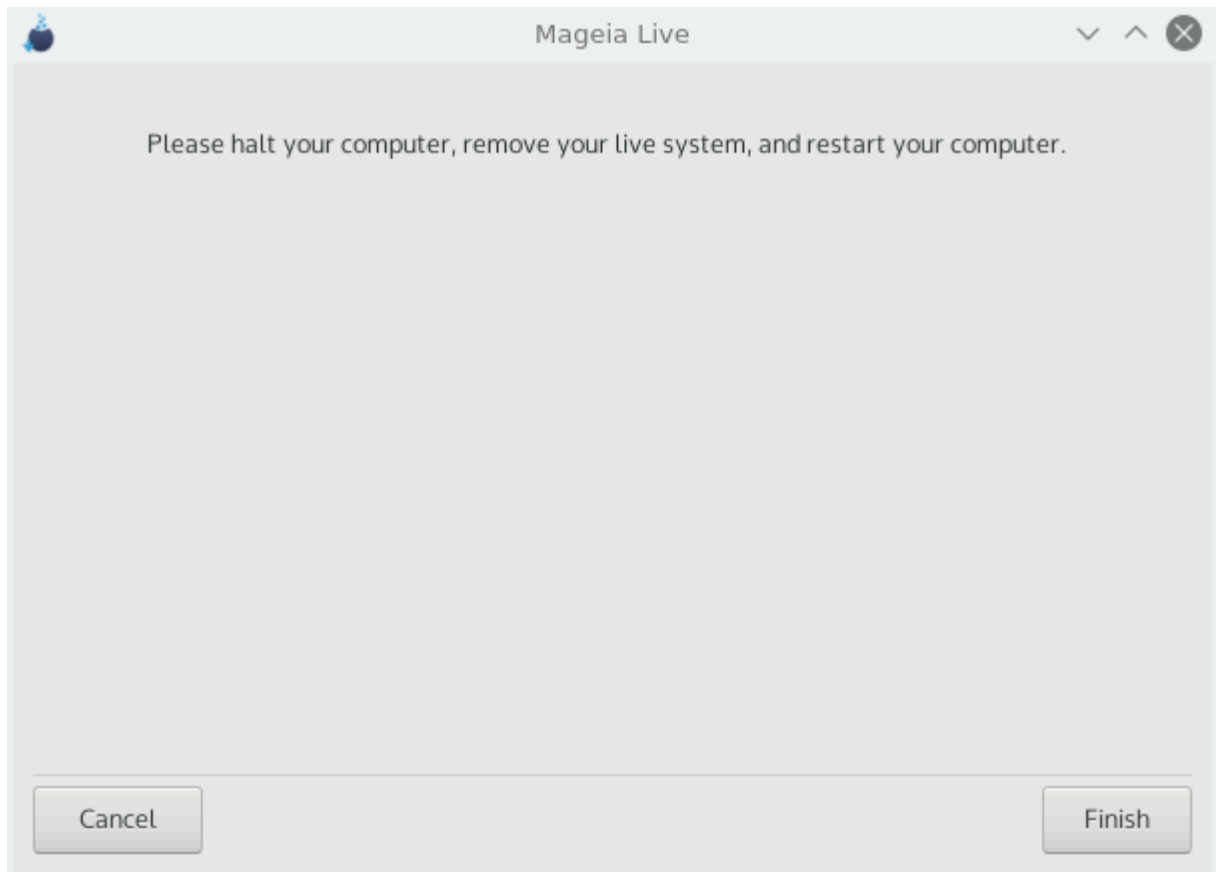
12. 再起動

ブートローダがインストールされると、コンピュータを停止するように促され、ライブ DVD/USB スティックを取り除いてコンピュータを再起動します。



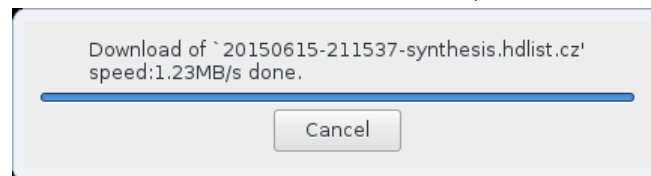
必ず同じ順序でこれらのシャットダウンと再起動の手順に従ってください。

#####

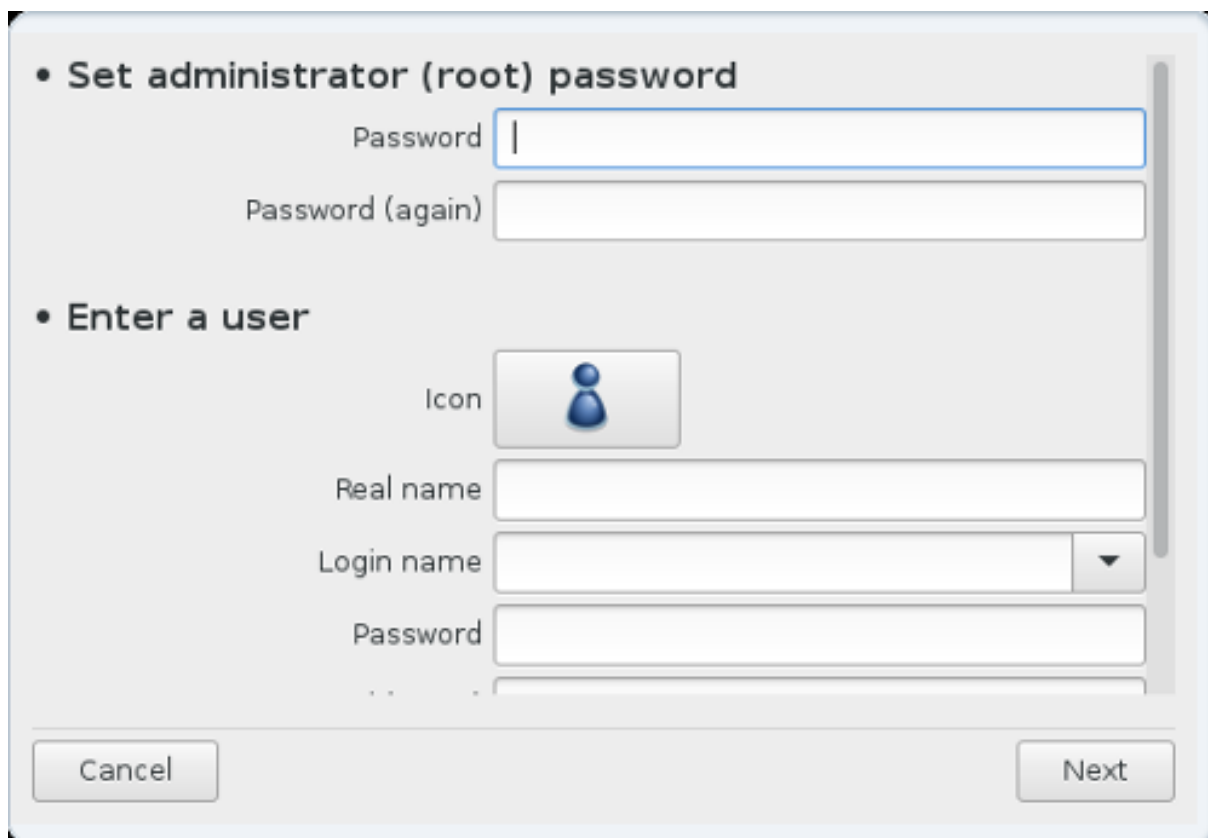


準備ができたなら、##を押します。

再起動の際、ダウンロードのプログレスバーが連続して表示されます。これはソフトウェアメディアの一覧がダウンロード中であることを示しています(#####を参照してください)。



13. ユーザの管理




• Set administrator (root) password

Password

Password (again)

• Enter a user

Icon 

Real name

Login name ▼

Password

Cancel Next

13.1. 管理者 (root) のパスワードを設定する:

Mageia のインストールされたすべての環境で##### (管理者) のパスワードを設定することが望ましいです。これは通常、Linux の root パスワードと呼ばれます。最初のパスワードをタイプミスしていないかを確認するために、下の入力欄に同じパスワードを繰り返し入力する必要があります。



一番上の入力欄にパスワードを入力すると、キーが押されるごとに盾がパスワードの強度によって赤色から黄色そして緑色へと変化します。緑色の盾は強固なパスワードを使用していることを示します。

すべてのパスワードは大文字と小文字を区別し、パスワードの中でアルファベット (大文字と小文字)、数字、他の文字を混在させて使うのが最適です。

13.2. ユーザを入力する

ここでユーザを追加します。通常ユーザは##### (root) よりも権限が少ないですが、インターネットやオフィス アプリケーションを使用したりゲームで遊んだり普通のユーザが自分のコンピュータで何か他のことを行ったりするには十分です。

- アイコン

このユーザのアイコンを変更したい場合にこのボタンをクリックします。

- 本名

このテキスト ボックスにこのユーザの本名を入力します。

- ログイン名

このユーザのログイン名をここに入力します。入力しない場合、DrakX がユーザの本名をもとにログイン名を決定します。このログイン名は大文字と小文字を区別します。



ここに入力したログイン名は既存の /home ディレクトリで使われているどのログイン名とも異なるものにするべきです。幾つかのユーザのパラメータはユーザの場所に書き込まれ、Firefox, Thunderbird, Kmail のデータなどのような実際のデータを上書きするかもしれません。

- パスワード

ユーザのパスワードを入力します (先述のアドバイスに従ってください)。

パスワード (再入力): ユーザのパスワードをこのテキスト ボックスに再度入力します。DrakX はあなたがパスワードをタイプミスしていないかをチェックします。

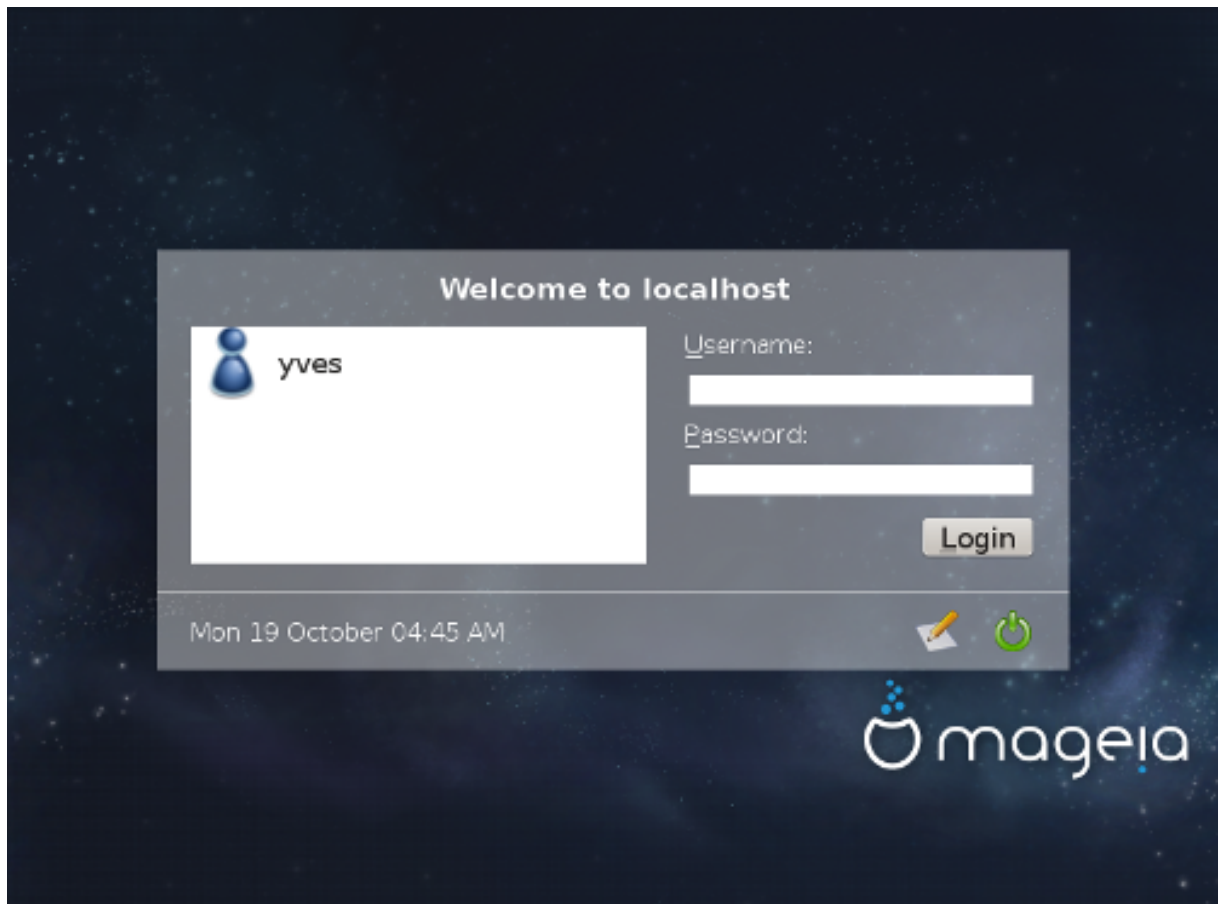


Mageia のインストール時に追加したユーザには、読み書きの両方で保護されたホーム ディレクトリ (umask=0027) が用意されます。

更に必要なユーザがあれば、インストールの## - ###のステップで追加できます。### ###を選択してください。

アクセス権はインストール後に変更することもできます。

14. ログイン画面



SDDM ログイン画面

最後に、デスクトップのログイン画面が表示されます。

あなたのユーザ名とユーザ パスワードを入力し、数秒間の内に KDE Plasma または GNOME デスクトップが読み込まれます。これはどのライブ メディアを使用しているかによって異なります。これで、インストールした Mageia を使い始めてお楽しみいただくことができます。

更に詳しいドキュメントは [Mageia wiki](https://wiki.mageia.org/en/Main_Page) [https://wiki.mageia.org/en/Main_Page] で見つかります。

15. Mageia をアンインストールする

Mageia があなたを納得させなかったか、もしくはあなたがこれを正しくインストールできなかった場合 - 手短かに言えば、あなたはこれを削除したいはずですが - これはあなたの権利であり、Mageia はアンインストールの可能性の提供も行います。これはすべてのオペレーティングシステムには当てはまりません。

データをバックアップした後、お使いの Mageia インストール メディア DVD を再起動して#### を選択し、次に、`Ρεστορε Ωινδοωσ βοοτ λοαδερ` を選択します。次のブート時、Mageia オペレーティングシステムの選択はなくなって Windows だけになっているでしょう。

Windows で Mageia のパーティションとして使用されていた領域を復旧するには: スタート # コントロール パネル # 管理ツール # コンピューターの管理 # 記憶域 # ディスクの管理をクリックします。Mageia のパーティションは##と表示され、そのサイズやディスク内の位置からも、あなたはこのパーティションが認識できるでしょう。各パーティションを右クリックして##を選択すると、その領域は解放されます。

Windows XP をお使いの場合、新しいパーティションを作成してそれをフォーマットできます (FAT32 もしくは NTFS)。そうするとパーティションのドライブ文字が付くでしょう。

Vista もしくは 7 をお持ちの場合、もう一つの可能性があり、解放された領域の左にある既存のパーティションを拡張することができます。gparted のような、windows と linux の両方で使用可能な他のパーティション管理ツールもあります。いつものように、パーティションを変更する際には十分注意し、大事なものはすべて事前にバックアップしておくようにしてください。